

補足調査報告書

柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する 県民意識調査業務（補足調査）

株式会社野村総合研究所
コンサルティング事業本部
エネルギー産業コンサルティング部
マーケティング戦略コンサルティング部

2025年11月11日



補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

調査方法等

柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民意識調査の補足として、PAZ・UPZ市町村にお住まいの方々を対象に、PAZ・UPZ地域全体としての意見を把握するため、市町村別の人口に応じた調査を実施した。

■ 調査実施スケジュール

調査期間：令和7年10月24日～11月7日

■ 調査票の設計

県内30市町村を対象とした調査（9月実施）と同じ

■ 調査方法

電子メールによる配信、インターネット上での回答・返信

■ 調査サンプル数及び有効回収数

PAZ・UPZ地域を対象とした調査 サンプル数：8,344（9市町村の人口に応じて配信、UPZ外も含む）

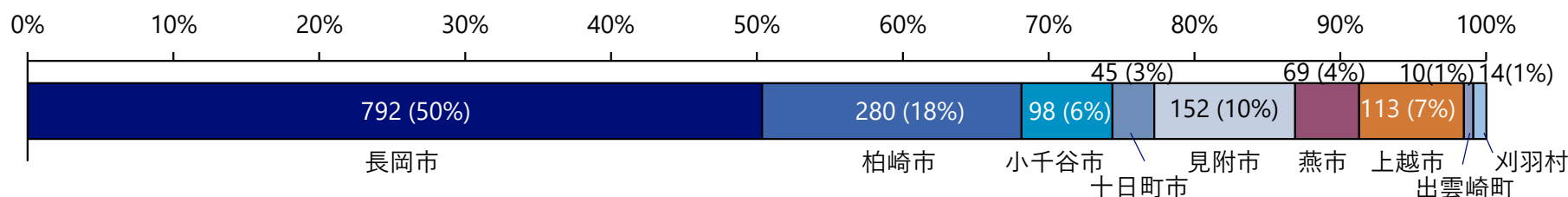
有効回収数：2,411（有効回収率28.9%）

※このうちPAZ・UPZ地域にお住まいの方々の回答（1,573）を対象に集計

■ 集計方法

性別・年齢別の人口構成を踏まえた重み付け（ウェイトバック集計）は実施しない。

（参考：集計対象者の市町村別内訳（UPZ外を除く）：調査票問6への回答による）



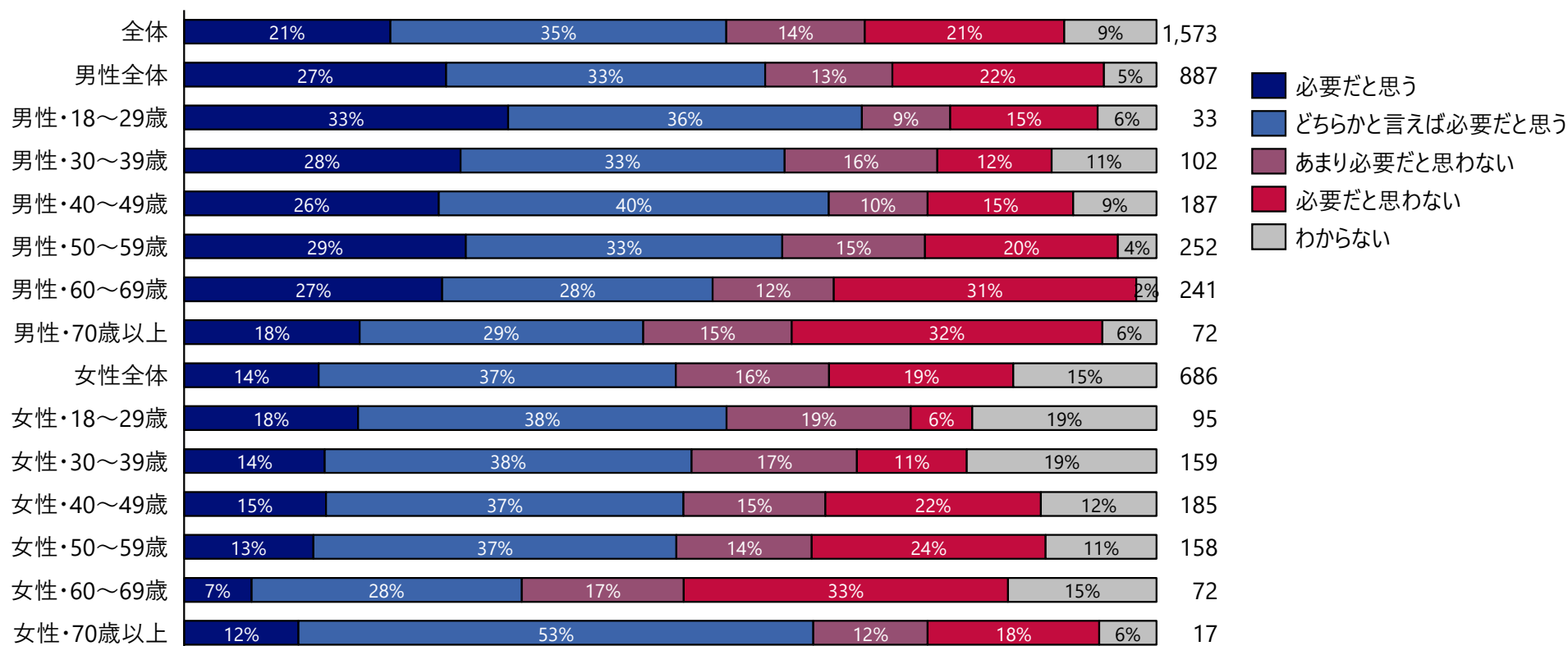
補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

性・年齢別回答集計：問1

性・年齢別の問1の回答構成（PAZ・UPZ地域）

<設問>

問1 柏崎刈羽原子力発電所に限らず、日本における原子力発電所の必要性について、あなたのお考えに最も近いものをお選びください。



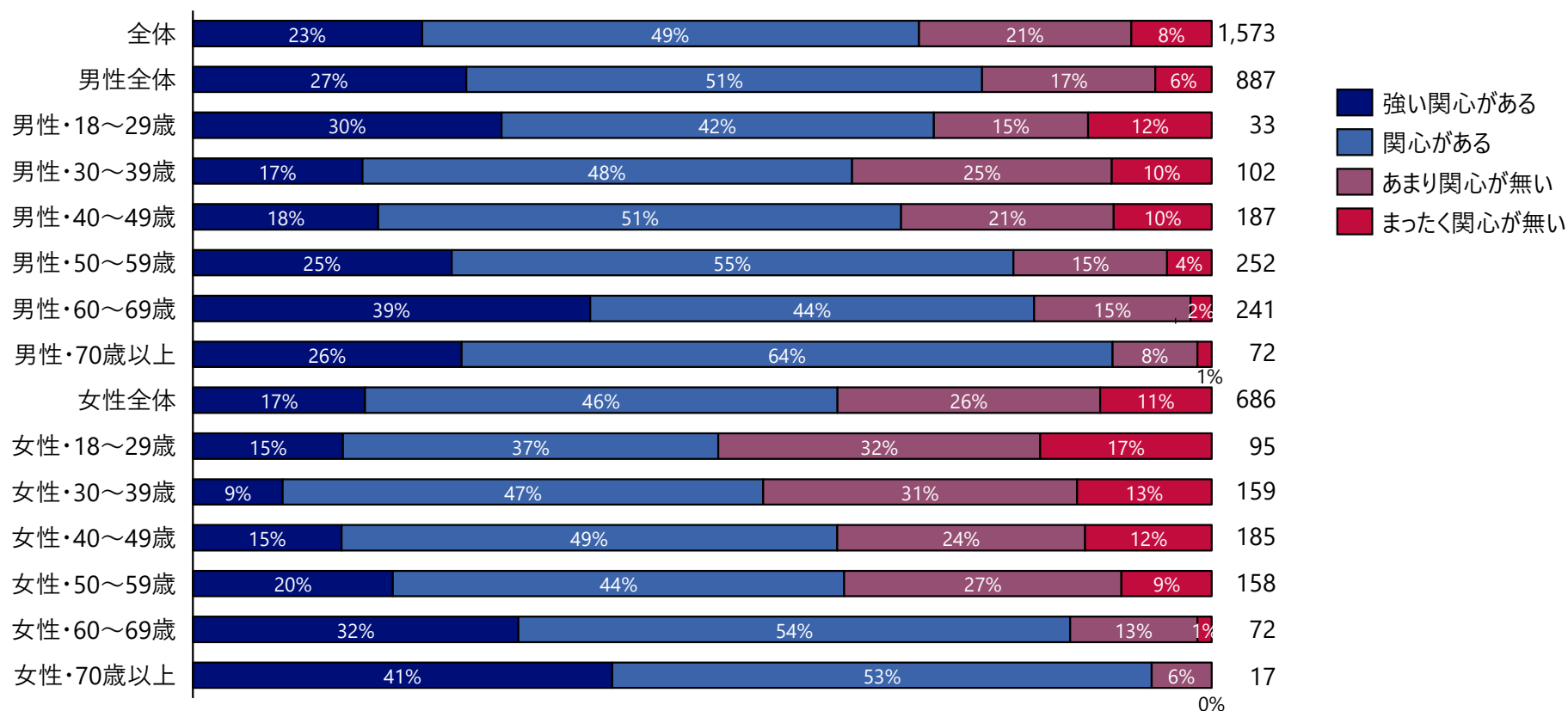
補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

性・年齢別回答集計：問2

性・年齢別の問2の回答構成（PAZ・UPZ地域）

<設問>

問2 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関してどの程度ご関心がありますか。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。



出所) 新潟県「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民の意識調査（補足調査）」（2025年10-11月）

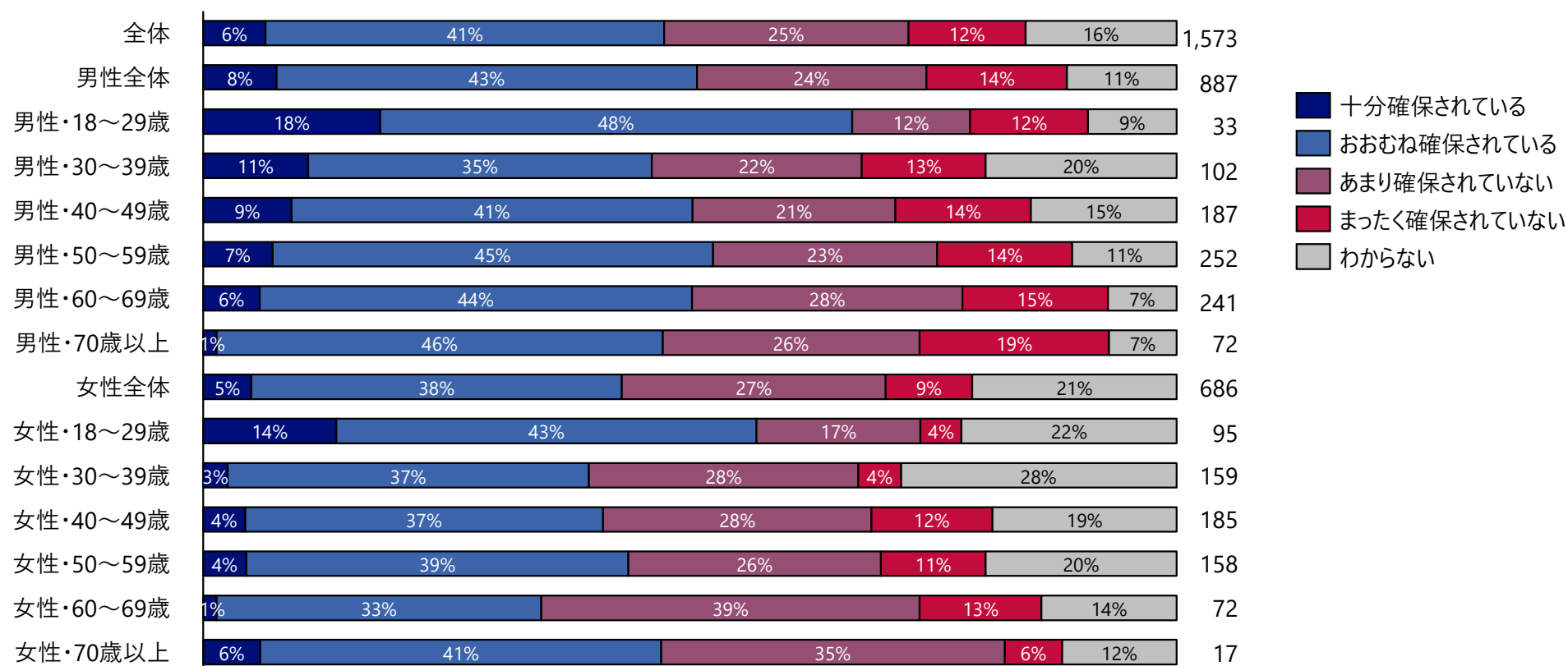
補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

性・年齢別回答集計：問3-2

性・年齢別の問3-2の回答構成（PAZ・UPZ地域）

<設問>

問3-2 問3-1の対策を含め、柏崎刈羽原子力発電所で実施されている対策により、安全性はどの程度確保されていると思いますか。最も近いものをお選びください。



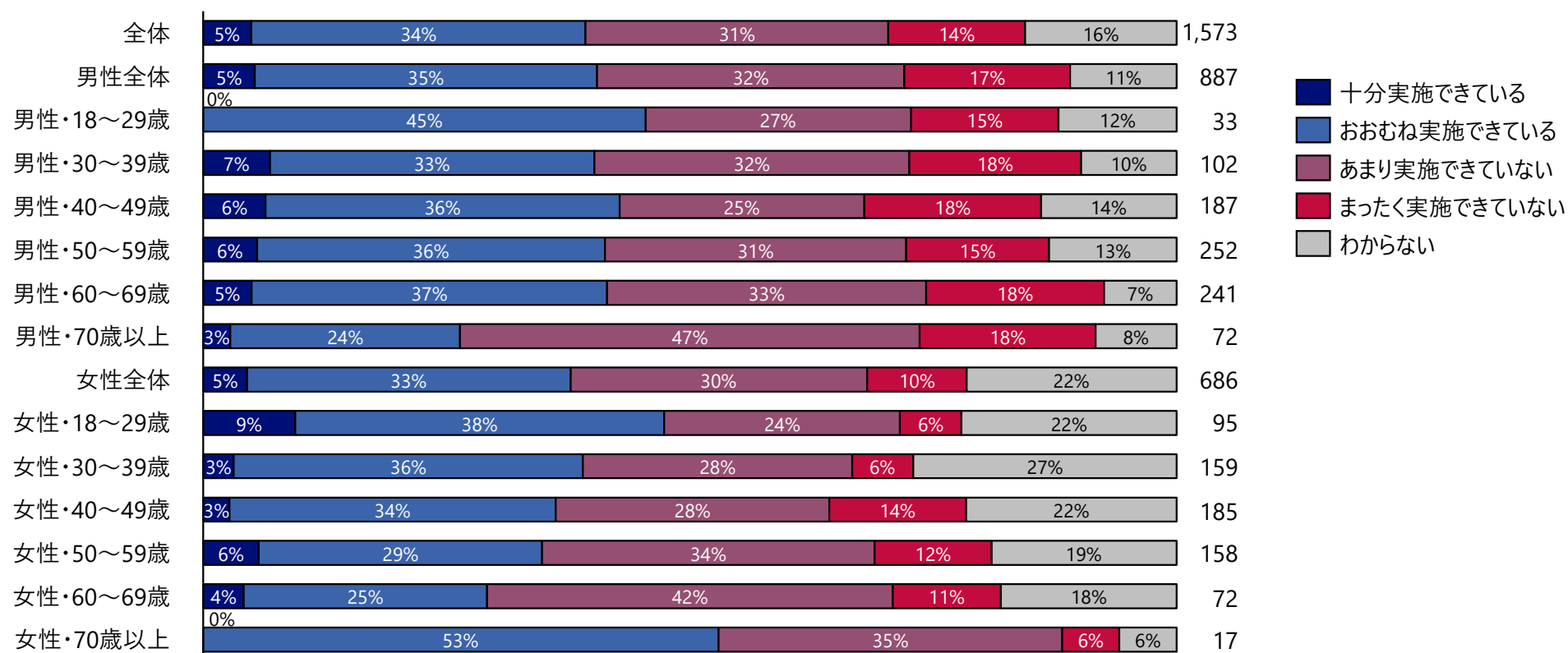
補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

性・年齢別回答集計：問4-3

性・年齢別の問4-3の回答構成（PAZ・UPZ地域）

< 設問 >

問4-3 問4-2で選択した対策に限らず、防災への取り組みはどの程度実施できていると思いますか。最も近いものをお選びください。



補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

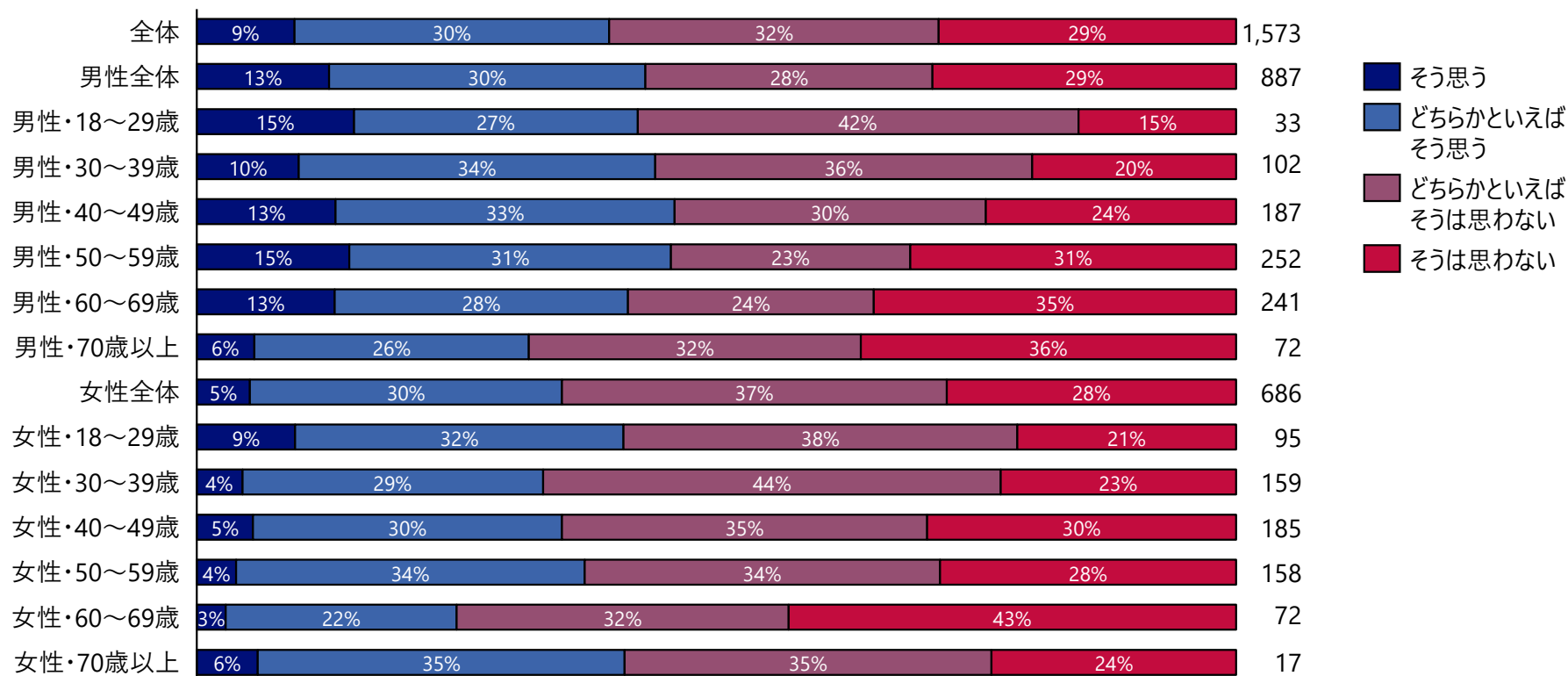
性・年齢別回答集計：問5-1(14)

性・年齢別の問5-1(14)の回答構成（PAZ・UPZ地域）

< 設問 >

問5-1 以下には柏崎刈羽原子力発電所6号機・7号機の再稼働に関する考え方を挙げています。以下のそれぞれについて、あなたご自身のお考えをお選びください。
 なお、あなたに該当しないことでも、その立場に立ってお答えください。（それぞれ1つずつ）

(14) 再稼働の条件は現状で整っている



補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

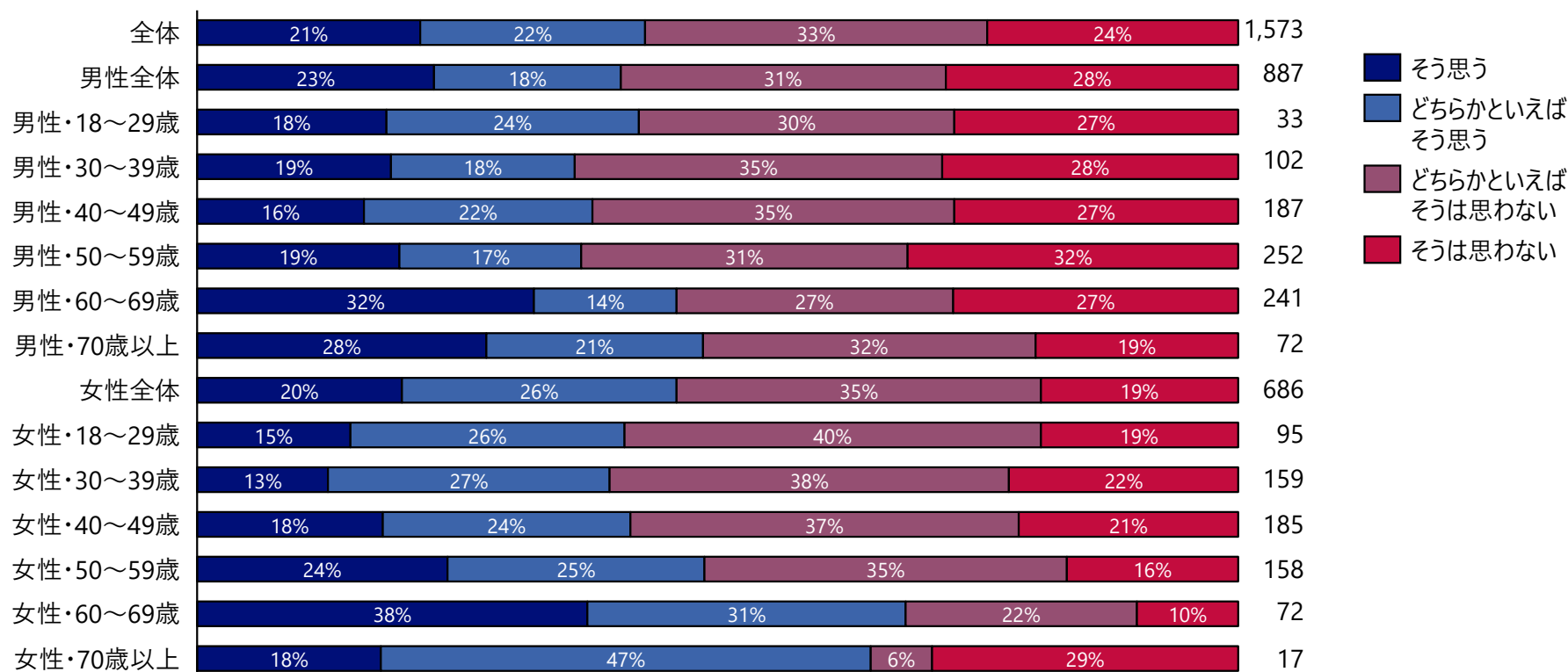
性・年齢別回答集計：問5-1(15)

性・年齢別の問5-1(15)の回答構成（PAZ・UPZ地域）

<設問>

問5-1 以下には柏崎刈羽原子力発電所6号機・7号機の再稼働に関する考え方を挙げています。以下のそれぞれについて、あなたご自身のお考えをお選びください。
なお、あなたに該当しないことでも、その立場に立ってお答えください。（それぞれ1つずつ）

(15) どのような対策を行ったとしても再稼働すべきでない

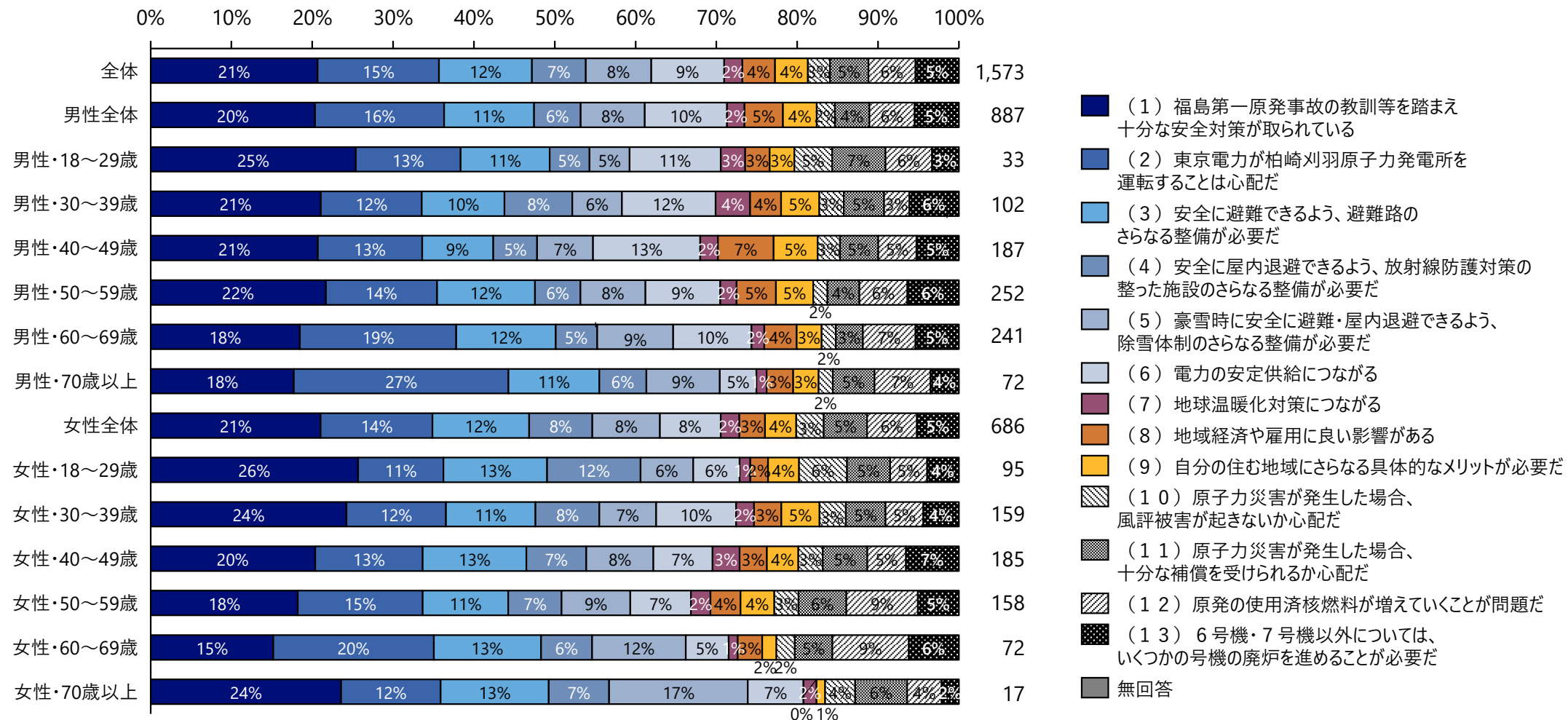


補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

性・年齢別回答集計：問5-2（第1位～第3位合算）

性・年齢別での問5-2の回答構成（第1位～第3位合算）（PAZ・UPZ地域）

問5-2 問5-1のうち、あなたが6号機・7号機の再稼働を考えるにあたって、特に重要と考えるものをお選びください。（（1）～（13）の中で、1位から3位まで1つずつ選択）に対する回答構成（1位：1pt, 2位：0.5pt, 3位：0.33ptで合算）



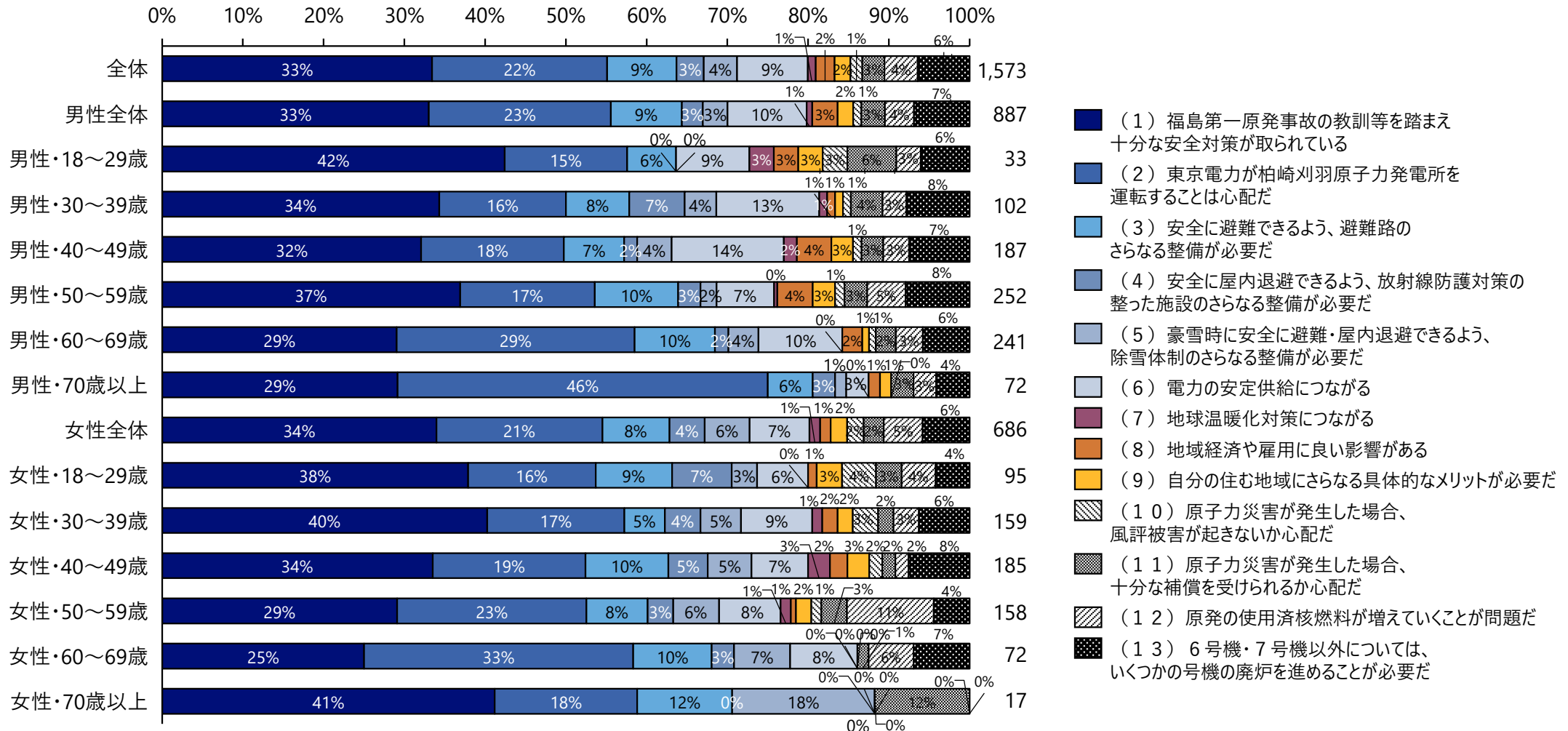
出所）新潟県「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民の意識調査（補足調査）」（2025年10-11月）

補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

性・年齢別回答集計：問5-2（第1位）

性・年齢別での問5-2の第1位の回答構成（PAZ・UPZ地域）

問5-2 問5-1のうち、あなたが6号機・7号機の再稼働を考えるにあたって、特に重要と考えるものをお選びください。（（1）～（13）の中で、1位から3位まで1つずつ選択） に対する、第1位の選択の回答構成（無回答は除外）

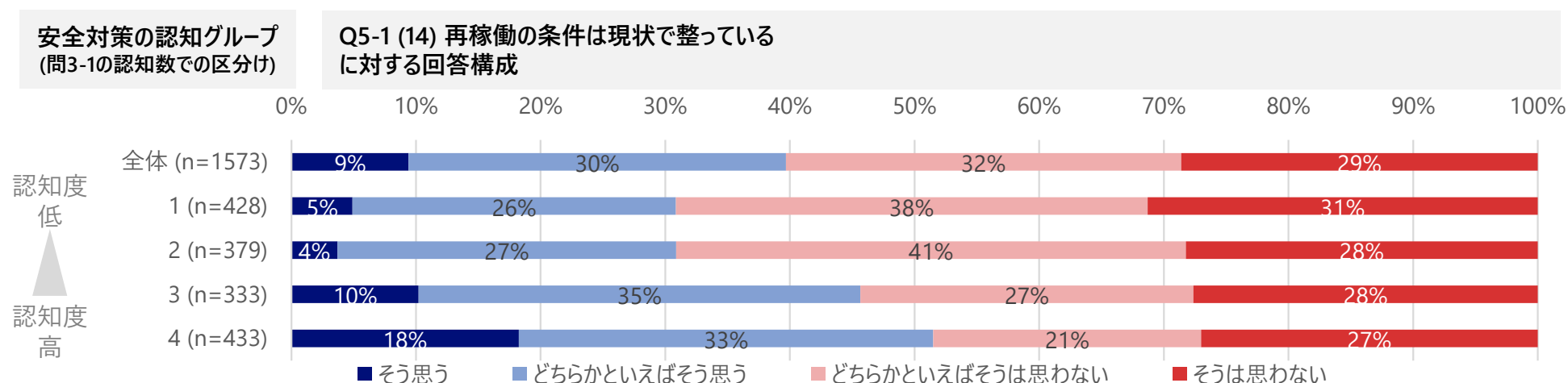


- (1) 福島第一原発事故の教訓等を踏まえ十分な安全対策が取られている
- (2) 東京電力が柏崎刈羽原子力発電所を運転することは心配だ
- (3) 安全に避難できるよう、避難路のさらなる整備が必要だ
- (4) 安全に屋内退避できるよう、放射線防護対策の整った施設のさらなる整備が必要だ
- (5) 豪雪時に安全に避難・屋内退避できるよう、除雪体制のさらなる整備が必要だ
- (6) 電力の安定供給につながる
- (7) 地球温暖化対策につながる
- (8) 地域経済や雇用に良い影響がある
- (9) 自分の住む地域にさらなる具体的なメリットが必要だ
- (10) 原子力災害が発生した場合、風評被害が起きないか心配だ
- (11) 原子力災害が発生した場合、十分な補償を受けられるか心配だ
- (12) 原発の使用済核燃料が増えていくことが問題だ
- (13) 6号機・7号機以外については、いくつかの号機の廃炉を進めることが必要だ

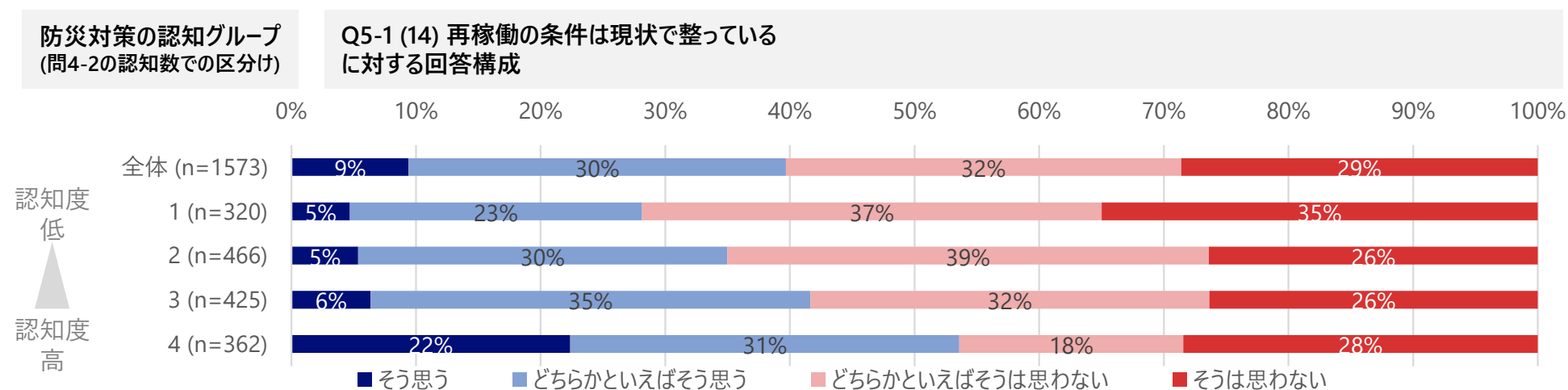
補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

安全対策・防災対策認知度×問5-1(14)

安全対策認知グループごとの問5-1(14)の回答構成



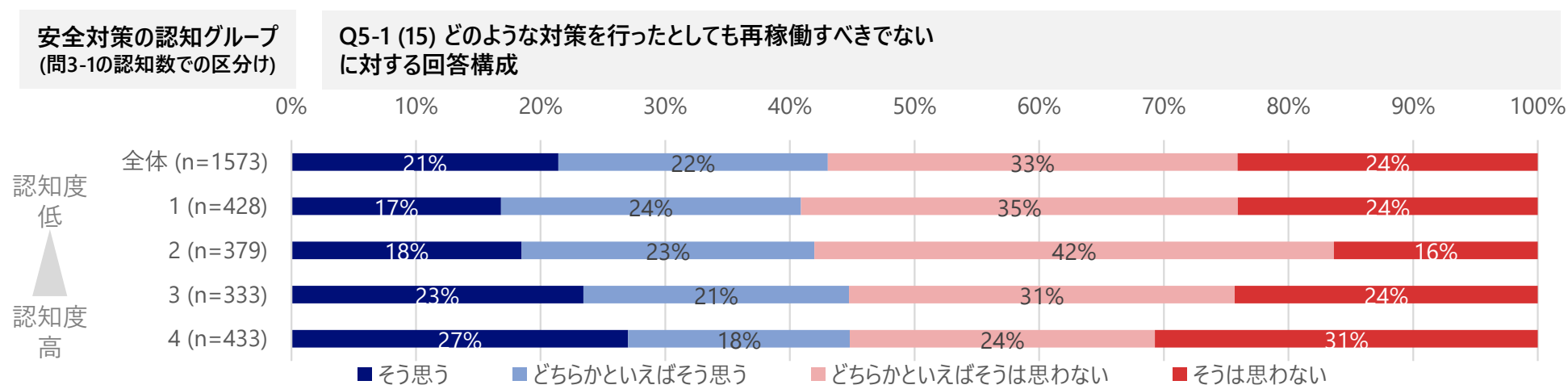
防災対策認知グループごとの問5-1(14)の回答構成



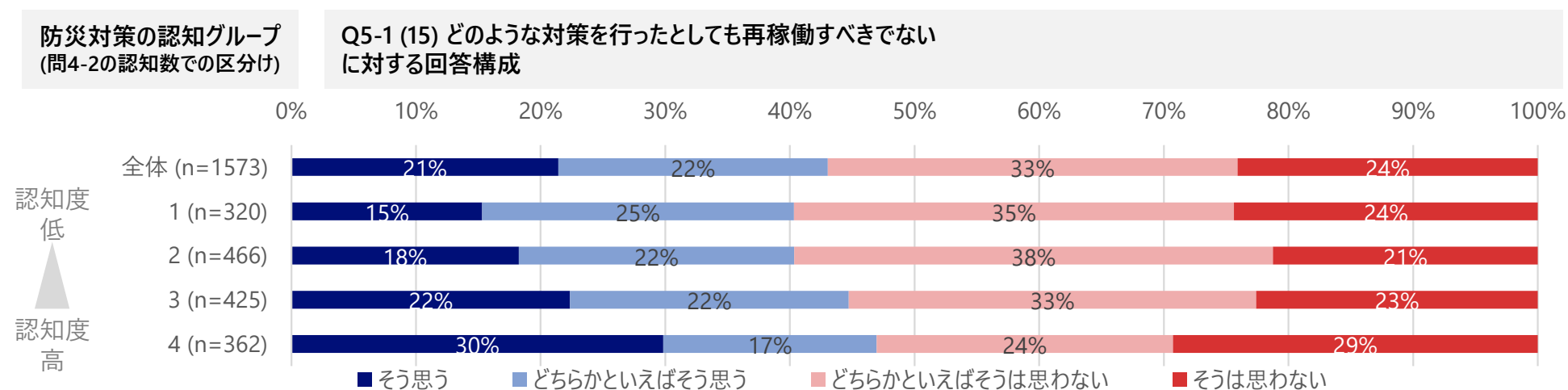
補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

安全対策・防災対策認知度×問5-1(15)

安全対策認知グループごとの問5-1(15)の回答構成



防災対策認知グループごとの問5-1(15)の回答構成



補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析 | 安全対策・防災対策の認知度グループ分けの考え方

【補足】安全対策・防災対策の認知度に応じた再稼働に対する態度への傾向を把握するため、それぞれへの認知度を区分けし、クロス集計を実施

- 安全対策の認知を問う設問（問3-1）、防災対策の認知を問う設問（問4-2）それぞれについて、「知っている」と回答した数に応じてサンプルを区分し、クロス集計の軸として利用

※2025年9月に実施した意識調査の結果分析とは安全対策・防災対策の認知度グループ分け（認知個数の閾値）が異なっているため留意必要

安全対策に関する認知度の区分け

	グループ	問3-1における 「知っている」 の回答数	構成比率 (9市町村分全体)
認知度 低  認知度 高	グループ1	0個	27.2%
	グループ2	1~3個	24.1%
	グループ3	4~5個	21.2%
	グループ4	6個	27.5%

防災対策に関する認知度の区分け

	グループ	問4-2における 「知っている」 の回答数	構成比率 (9市町村分全体)
認知度 低  認知度 高	グループ1	0個	20.3%
	グループ2	1~3個	29.6%
	グループ3	4~6個	27.0%
	グループ4	7~8個	23.0%

- ・ 分析目的に照らし、グループごとのサンプル数構成比率がなるべく均等になるように、「知っている」の回答数に応じて分割している。
- ・ グループ1では対策について「全く知らない」状態のグループとするため、「知っている」の回答数が0個のサンプルと定義している。
- ・ 上記2点を踏まえたグループ分けを行った結果として、補足調査サンプルにおける認知グループ2~4の閾値が、2025年9月に実施した意識調査と異なっている。

その他単純集計

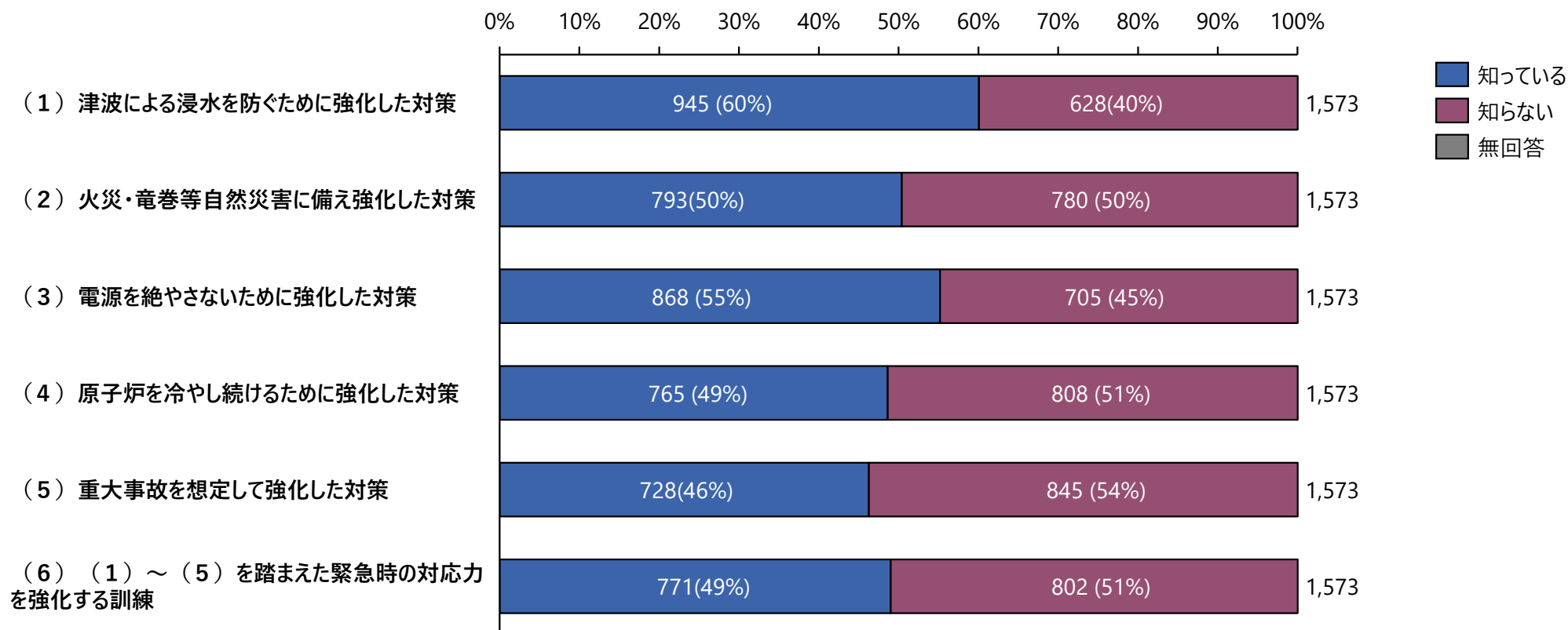
補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

単純集計結果（PAZ・UPZ地域）

問3-1の回答構成（PAZ・UPZ地域）

<設問>

問3-1 あなたは以下の対策が行われていることを知っていますか。写真や図で示した対策例を1つでも知っていれば「1」（知っている）、ひとつも知らなければ「2」（知らない）をお選びください。



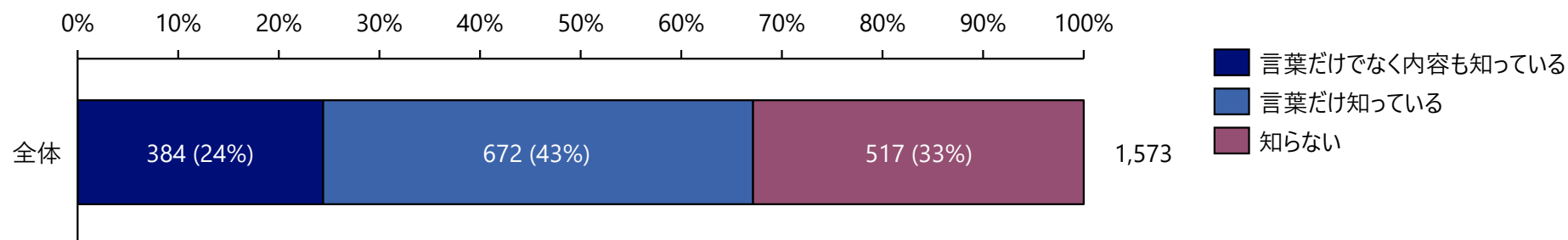
補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

単純集計結果（PAZ・UPZ地域）

問4-1の回答構成（PAZ・UPZ地域）

<設問>

問4-1 県では、柏崎刈羽原子力発電所からの距離に応じて、半径概ね5 km圏をPAZ（放射性物質放出前に避難等を実施する区域）、半径概ね5～30km圏をUPZ（放射性物質放出に備えて屋内退避し、放出後は放射線量に応じて避難等を実施する区域）と設定しています。あなたはPAZやUPZについて知っていますか。



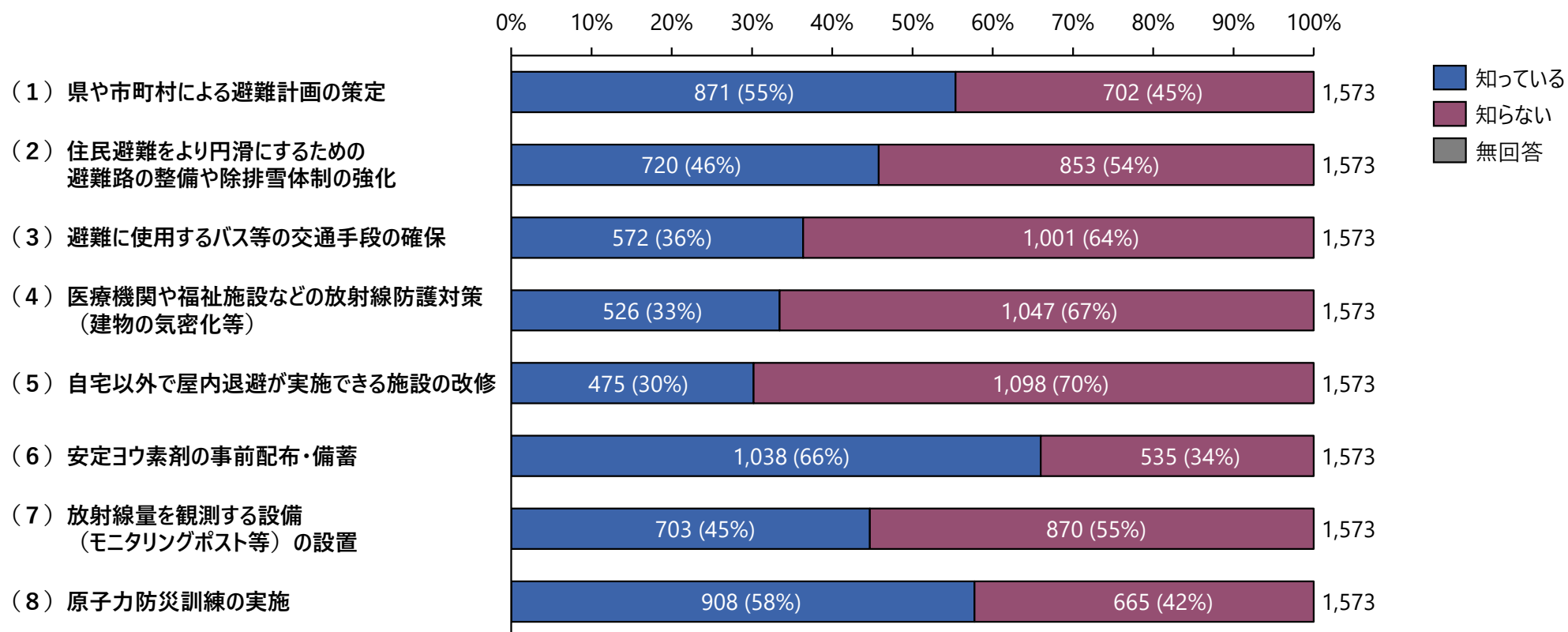
補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

単純集計結果（PAZ・UPZ地域）

問4-2の回答構成

<設問>

問4-2 柏崎刈羽原子力発電所で原子力災害が発生した場合に備え、さまざまな「防災対策」が行われています。あなたは以下の対策が行われていることを知っていますか。



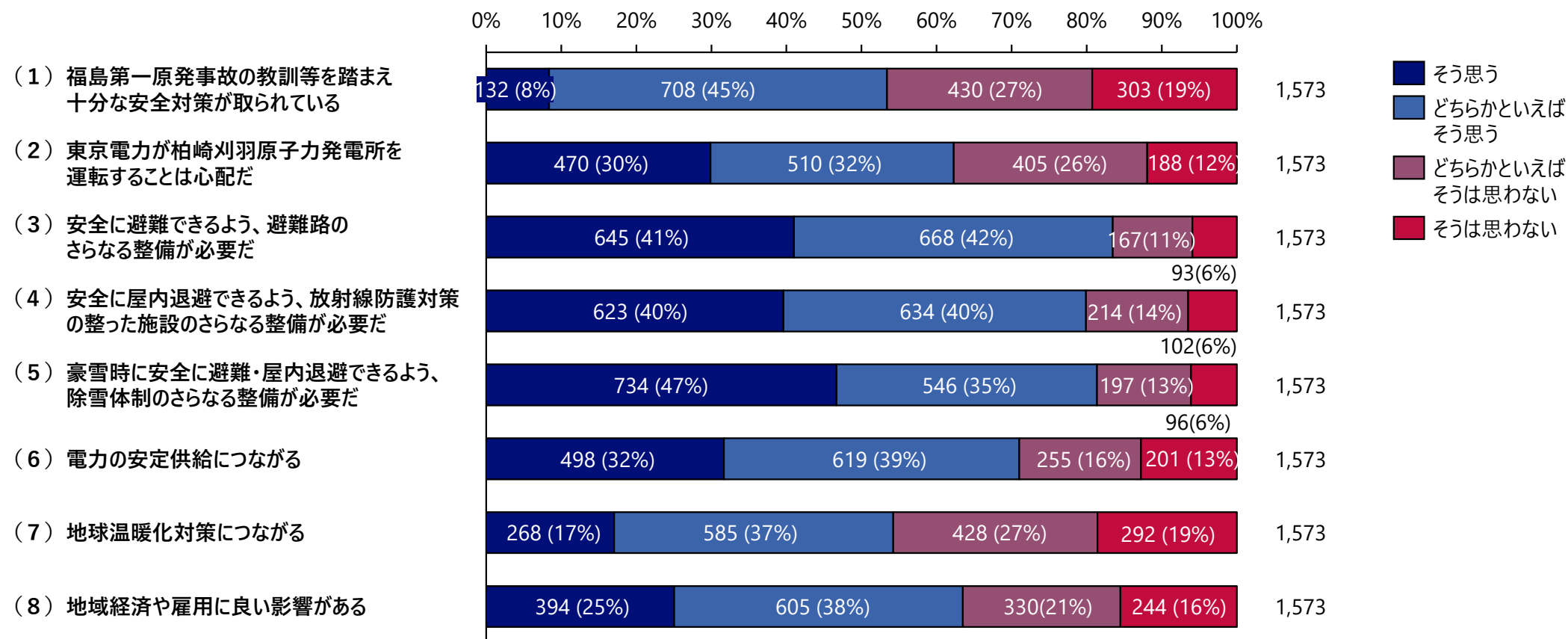
補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

単純集計結果（PAZ・UPZ地域）

問5-1の回答構成（PAZ・UPZ地域）

<設問>

問 5 -1 以下には柏崎刈羽原子力発電所 6 号機・7 号機の再稼働に関する考え方を挙げています。以下のそれぞれについて、あなたご自身のお考えをお選びください。
なお、あなたに該当しないことでも、その立場に立ってお答えください。（それぞれ1つずつ）



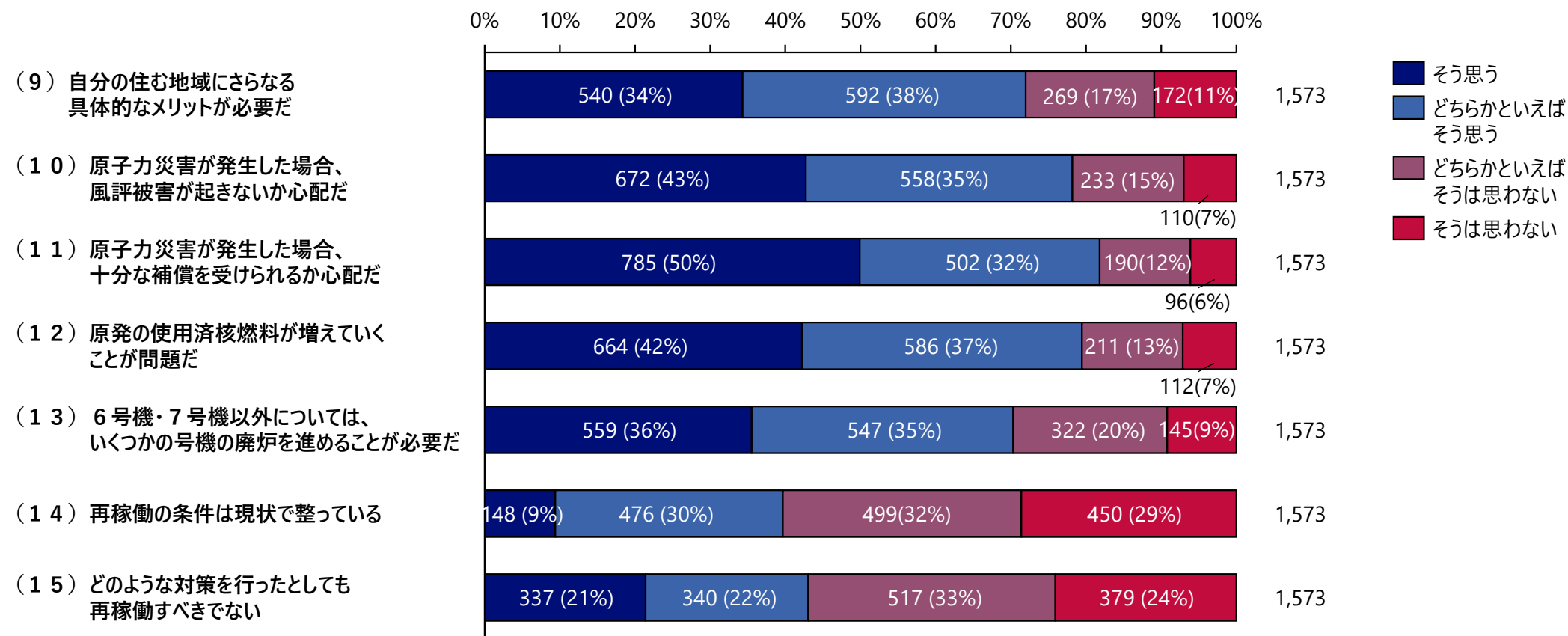
補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

単純集計結果（PAZ・UPZ地域）

問5-1の回答構成（PAZ・UPZ地域）

<設問>

問5-1 以下には柏崎刈羽原子力発電所6号機・7号機の再稼働に関する考え方を挙げています。以下のそれぞれについて、あなたご自身のお考えをお選びください。
 なお、あなたに該当しないことでも、その立場に立ってお答えください。（それぞれ1つずつ）

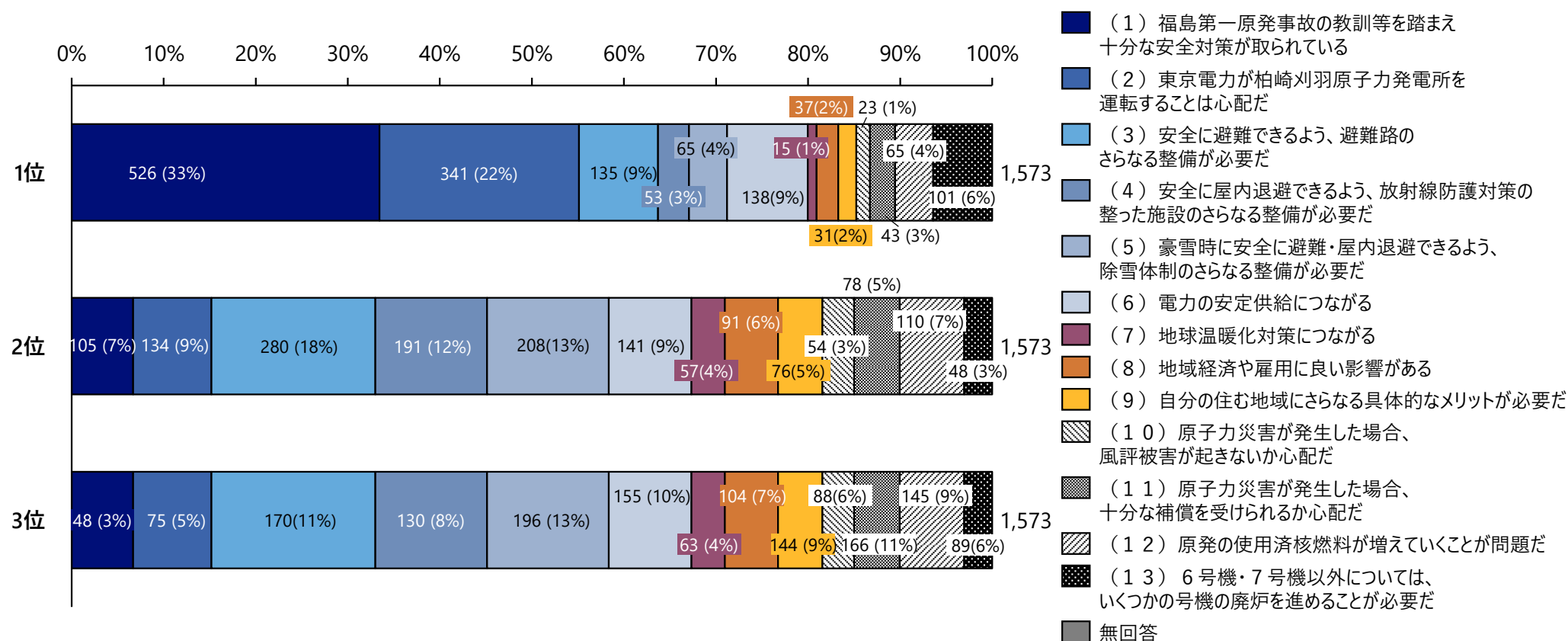


補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

単純集計結果（PAZ・UPZ地域）

問5-2の回答構成（PAZ・UPZ地域）

問5-2 問5-1のうち、あなたが6号機・7号機の再稼働を考えるにあたって、特に重要と考えるものをお選びください。（（1）～（13）の中で、1位から3位まで1つずつ選択）

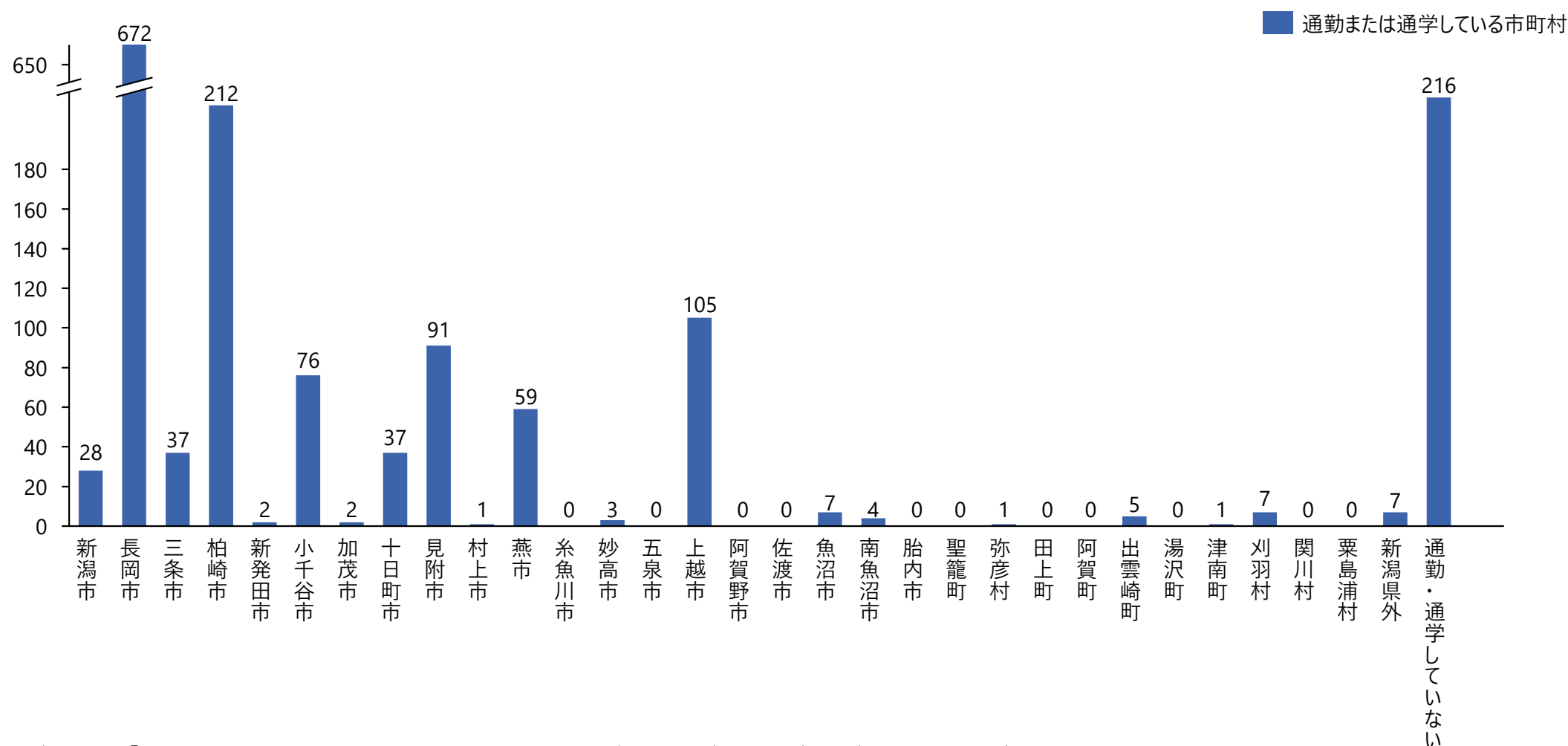


補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

単純集計結果（PAZ・UPZ地域）

問6の回答構成（PAZ・UPZ地域）

問6 あなたがお住まいおよび通勤または通学している市町村についてお答えください。ー通勤または通学している市町村

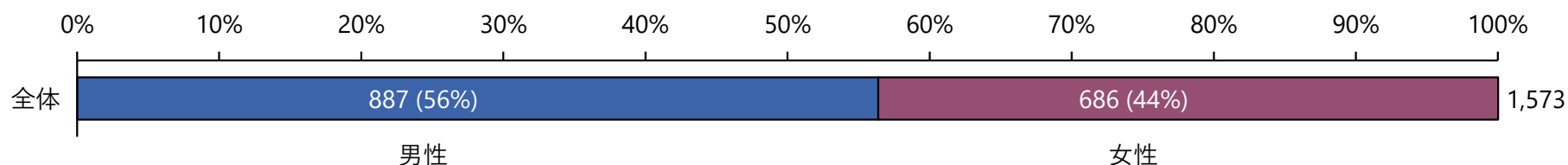


補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

単純集計結果（PAZ・UPZ地域）

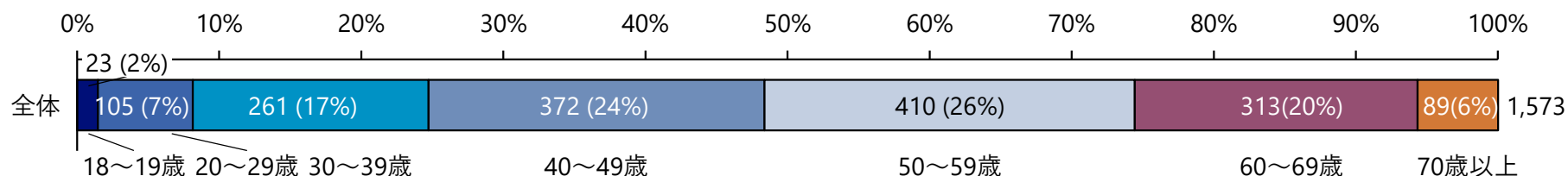
問7の回答構成（PAZ・UPZ地域）

問7 あなたの性別についてお答えください。



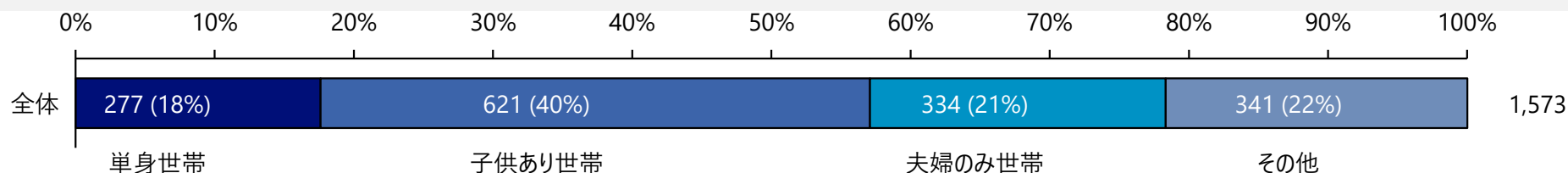
問8の回答構成（PAZ・UPZ地域）

問8 あなたの現在の年齢をお答えください。



問9の回答構成（PAZ・UPZ地域）

問9 あなたが同居されている世帯の構成についてお答えください。

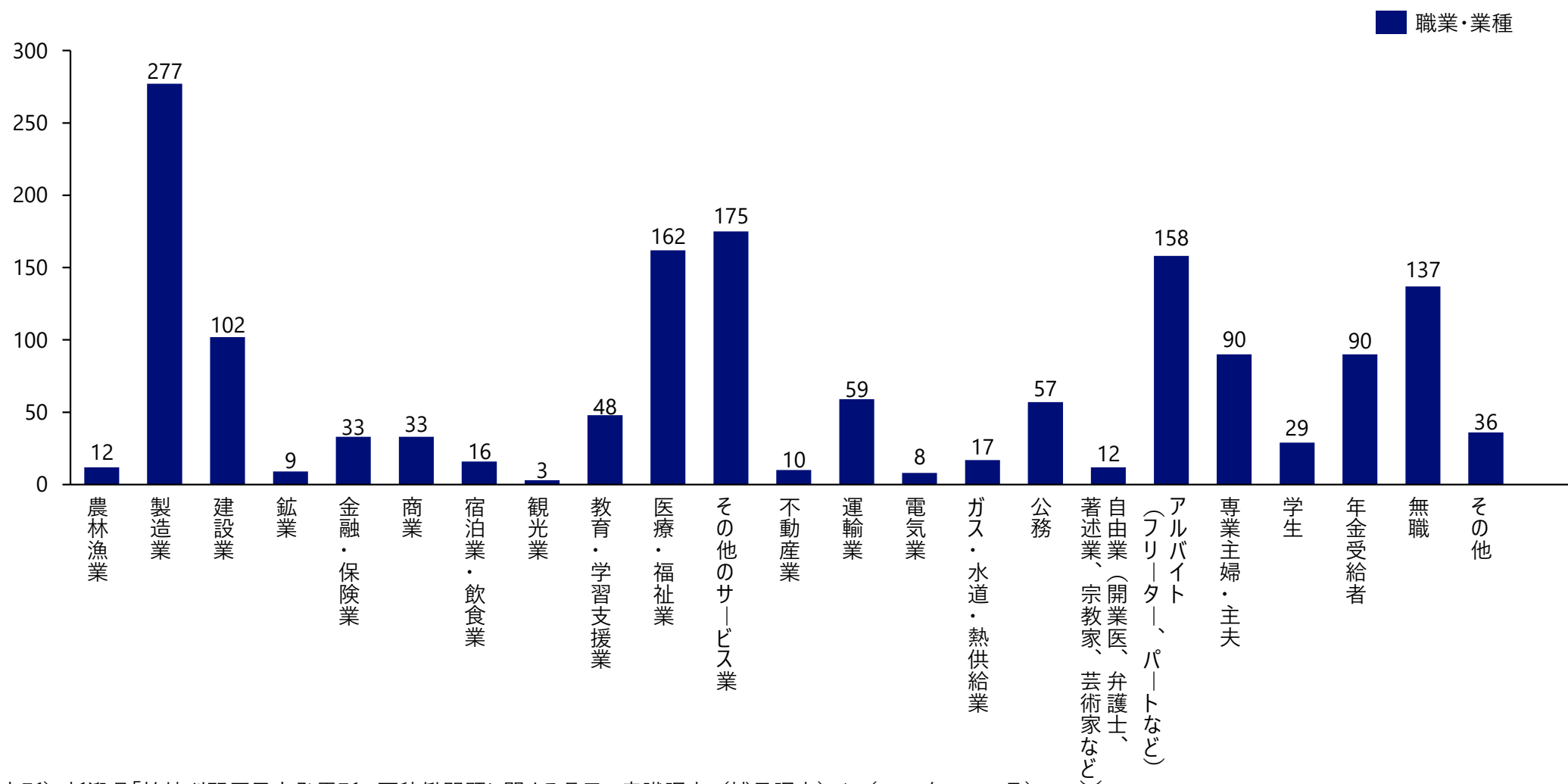


補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

単純集計結果（PAZ・UPZ地域）

問10の回答構成（PAZ・UPZ地域）

問10 あなたの職業・業種は、この中のどれにあたりますか。

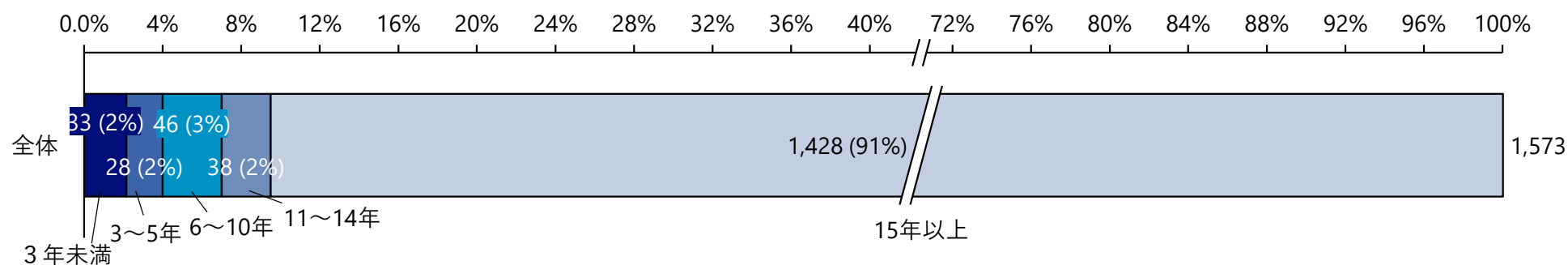


補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析

単純集計結果（PAZ・UPZ地域）

問11の回答構成（PAZ・UPZ地域）

問11 あなたは、新潟県にお住まいになって、何年になりますか。



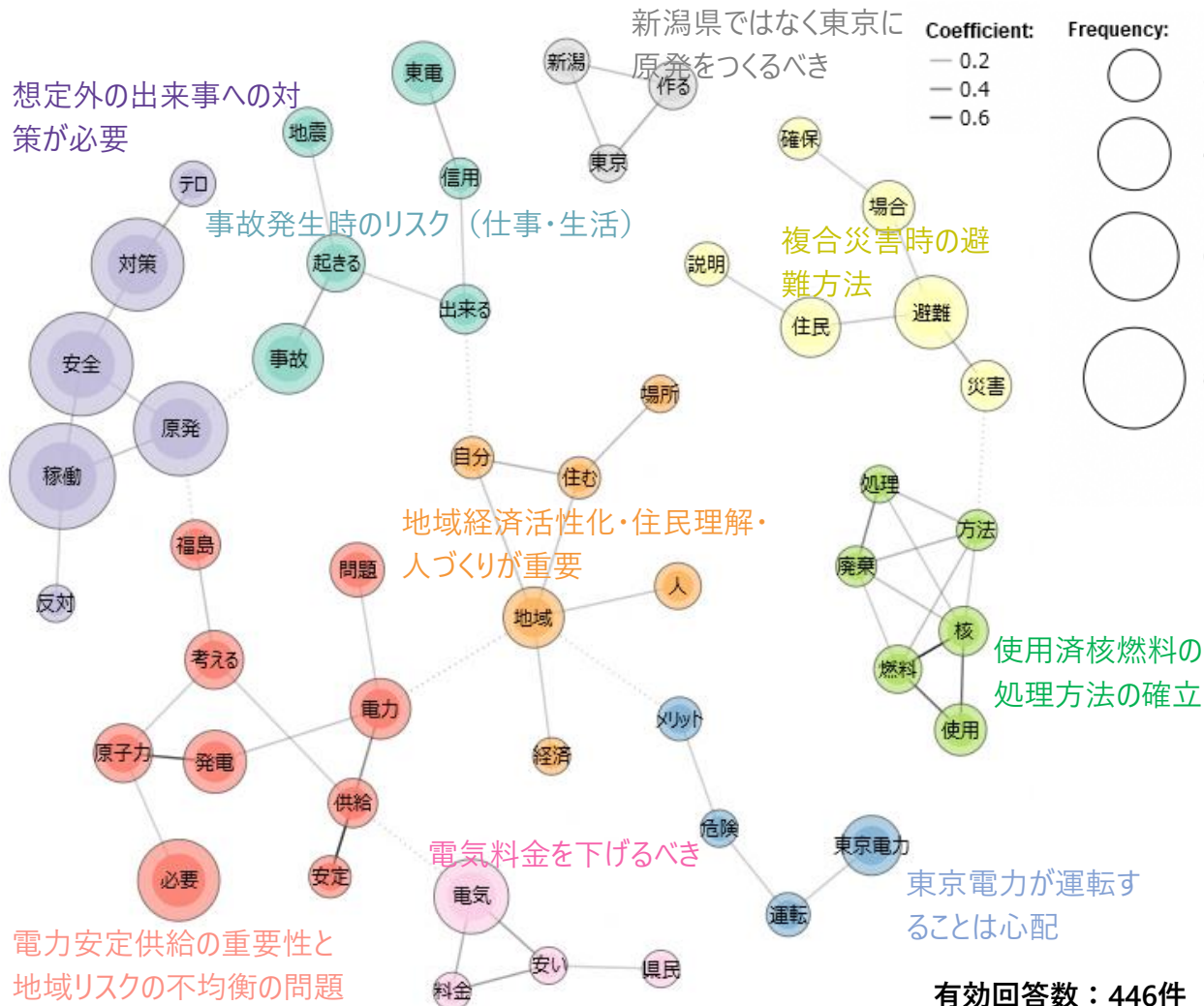
補足調査：PAZ・UPZ地域の集計・分析 | ⑤自由回答の傾向分析 | 問5-3 (1)～(13)以外で重要と考えること

想定外の出来事への対策が必要、複合災害時の避難方法、電力安定供給の重要性と地域リスクの不均衡の問題、地域経済活性化・住民理解・人づくりが重要等の意見がある。

全県データにおける回答傾向

(1) ～ (13) 以外の意見詳細

問5-3. 問5- 1 のうち (1) ～ (13) 以外であなたが重要と考えることがあれば記入してください。



想定外の出来事への対策が必要

- 東日本大震災の規模は想定外だったのは確かにあるが、毎回毎回「想定外でした」で済まされるものではない。(30代男性)
- 自然災害は想定外の事が起こる。(60代男性)
- 数日間避難が出来るシェルターを設置を考えるべきだ。(60代男性)
- テロ対策、ドローンやミサイル攻撃に対する対策は？(70代以上男性)

複合災害時の避難方法

- 複合災害が起こったときの確実な避難が必要。(60代男性)
- すぐに避難がむずかしい高齢者世帯への対策がもっと考えられていれば、さらに安心できるかもしれない。(50代女性)
- 自分が避難をした先の住民さんが避難の人が来たことで不便な思いをしないこと。(50代女性)

電力安定供給の重要性と地域リスクの不均衡の問題

- 電力は大事なもので無くなっては困るが、地方に皺寄せがくるような仕組みは良くない。(50代女性)
- そもそもなぜ自分の地域で使えない電力でリスクを受けるのか。(70代以上女性)
- デブリ取り出し後の処理方法の確立と安全性の確保。(40代女性)

地域経済活性化・住民理解・人づくりが重要

- 住民や国民の理解を得ること。(30代女性)
- 本当に安全な廃炉方法の確立や使用済核燃料の処理のために、優秀な人材や資金を確保すること。(50代女性)
- 原発問題を知らない世代への教育。(10-20代女性)

電力安定供給の重要性と
地域リスクの不均衡の問題

出所) 新潟県「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民の意識調査 (補足調査)」(2025年10-11月)

集計・分析結果から得られる示唆

項目	分析から得られる示唆
①性・年齢別 傾向分析	- 問1では、日本における原子力発電所の必要性について、肯定的な回答（「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」）をした人の割合は、男性の方が高く、また若年層の方が高い傾向にある。（☞p.3） - 問2では、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働への関心について、肯定的な回答（「強い関心がある」「関心がある」）をした人の割合は、男性の方が高く、また年齢が高くなるほど高い傾向にある。（☞p.4） - 問3-2および問4-3では、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策による安全性の確保状況や原子力災害に備えた防災対策の実施状況について、肯定的な回答（「十分」「おおむね」を含めて「確保できている」、「実施できている」）をした人の割合は、男性の方が高く、また若年層の方が高い傾向にある（男性では、女性ほど年代別の傾向が明瞭ではないが、「十分確保されている」「十分実施できている」の回答割合で見ると、若年層の方が高い傾向にある）。（☞p.5, 6） - 問5-1(14)「再稼働の条件は現状で整っている」について、再稼働に肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）をした人の割合は、男性の方が高く、年代別の傾向は明瞭ではない。なお、「そうは思わない」と回答した人の割合は、年齢が高くなるほど高い傾向にある。（☞p.7） - 問5-1(15)「どのような対策を行ったとしても再稼働すべきでない」について、再稼働に否定的な回答「（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）をした人の割合は、女性の方が高く、また年齢が高くなるほど高い傾向にある。（☞p.8）
②地域別傾向分析	- 安全対策では「津波による浸水を防ぐため強化した対策」を「知っている」割合が最も高い。防災対策では、「安定ヨウ素剤の事前配布・備蓄」を「知っている」割合が最も高い。（☞p.15, 17） - 再稼働による影響を心配・問題とする考え方（原子力災害発生時の風評被害や補償、使用済核燃料の問題）に対し「そう思う」と回答する割合が高く、避難等防災対策（除雪体制のさらなる整備）への回答の割合も高い。（☞p.18, 19）
③再稼働へのスタンス の要因分析 ④認知度に関する分析	問5-1(14)「再稼働の条件は現状で整っている」の回答と、安全対策・防災対策の認知度や、対策の実施状況の認識との関係では、安全対策・防災対策に関する認知度が高くなるほど（知識量が増えるほど）、問5-1(14)「再稼働の条件は現状で整っている」に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という意見が多くなる傾向にある。（☞p. 11～13）
⑤自由回答の 傾向分析	問5-1(1)～(13)以外で重視する項目として、想定外の出来事への対策が必要、複合災害時の避難方法、電力安定供給の重要性と地域リスクの不均衡の問題、地域経済活性化・住民理解・人づくりが重要等の意見がある。なお、問5-1(1)「福島第一原発事故の教訓を踏まえた十分な安全対策」・問5-1(2)「東京電力が柏崎刈羽原子力発電所を運転することは心配」に関する意見も多い。（☞p. 25）